

富山市水辺をきれいにする会

～神通川の魅力を伝える～



1. 地域の概要

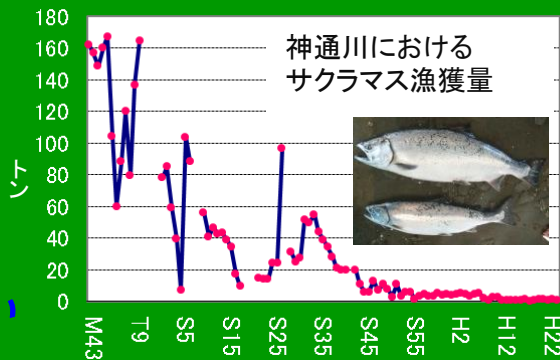
富山市水辺をきれいにする会は富山漁協、婦負漁協（内水面）及びとやま市漁協（海面）で構成され、内水面ではモデル地区に選定されている。活動場所である富山市は、岐阜県飛騨山脈を源として富山湾へと流れる神通川を有しており、古くはサクラマス、サケ、アユの皇室の御猟場に指定されるなど、豊かな川の幸に恵まれていた。富山の特産物として有名な「ますの寿司」も元来は神通川のサクラマスによりつくられていた。

2. 現状と課題

サクラマス資源が減少

- ・河川開発等によりサクラマスの遡上範囲が17.1%まで消失
- ・神通川での漁獲量は160トンから1トン程度にまで激減(右図)
- ・他の魚種でも遡上範囲や生息域が減少

→ 神通川の魅力を高め、豊かな川を取り戻したい



3. 神通川の魅力を高める主な取組み

H25,26 サクラマス自然産卵観察会



地元小学生を対象にサクラマス自然産卵観察会を開催。

H26 手づくり魚道の設置(H28 修繕)



地元大学生及び海面漁協と共に手作り魚道を設置。

H27 サケ観察会



県内の高校生を対象に水中カメラを利用してサケの観察会を開催。

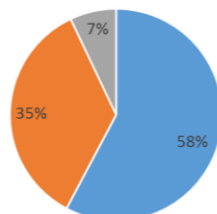
H28,H29 サクラマス卵の飼育体験



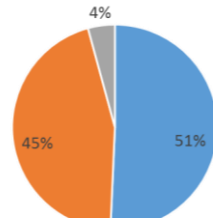
地元小学生を対象にペットボトルでサクラマスの卵をふ化させる飼育体験を実施した。飼育期間は、約3週間。

【H28アンケート結果（抜粋）】 計71名

サクラマスを知っていますか？



どのくらい観察しましたか？



結果：多くの児童が興味を示してくれた。